

気軽に参加ください
学園だより 吉備国際大学公開講座 **受講料 無**

▶ **テーマ** みんながいつでもどこでもできるNEW健康スポーツ

▶ **開催日程** ※時間は、いずれも13:30~15:00

| 月日 | 演題 | 講師 |
|---------|-------------------------|----------------------|
| 5/15(土) | 気功と健康中国武術のルーツ：八卦掌と易筋経 | 吉備国際大学 竹内 研 |
| 5/22(土) | ピラティスで身体の声聞いて、すっきり健康づくり | 倉敷芸術科学大学 非常勤講師 副島 斉子 |
| 5/29(土) | 私達の生活に生かすヨガ・エクササイズ | 吉備国際大学 非常勤講師 竹内 美穂 |
| 6/5(土) | ゆる体操で生き生き生活&心身の若返り | 日本ゆる協会 小野 勝之 |
| 6/12(土) | 身体に優しいエアロビック：ローインパクト | 吉備国際大学 非常勤講師 謝名堂りさ |

▶ **会場** 順正学園 第一体育館 (駐車場もあります)

▶ **申込方法** 5月11日(火)までに、電話、ファックス、Eメール (shomu@office.kiui.ac.jp) でお申し込みください (電話の受付時間は平日9:00~17:00)。

※1回のみ受講も可能です (事前の連絡が必要)。

■ **問い合わせ・申し込み** 吉備国際大学庶務課 (☎②9454・FAX②7560)

地名を歩く

六十五

成羽

星原丁(星鷹丁)



西から見た武家町「星原丁」



「山崎御殿跡 大手門」

成羽の町の南、成羽川の右岸に鶴首山(三三一丁)という中世の砦があった山があります。その山の裾一帯には、現在、美術館や地域局、成羽小学校などがあり、ここは、陣屋町発展の元となった後期山崎氏初代山崎豊治(家治二男)が水谷勝隆が着手した陣屋築造の事業を受け継いで本格的陣屋(御殿)を造営したといわれる「山崎御殿」の跡なのです。大手門、御庫門、作業門などの石垣が残っています。「算木積み」で角を飾った立派な打込ハギの石組みなど、万治元年(一六五八)豊治が入部して新陣屋の完成に取り組んだ近世の石組みが見事です。

山崎豊治は「交替寄合表御礼衆」(五千石)といわれる家格の旗本で、将軍に直属する旗本の中で二〇家の内に入る「表御礼衆」で参勤交替の義務があつて大名扱いされ、江戸城での殿席も「柳之間」だったといわれています。

今も残る下原の町は豊治が陣屋を中心に取り立てた陣屋町なのです。陣屋町とは、江戸時代、代官や旗本が居館(御殿)を中心にまちづくりをし発展した町で、待屋敷、町屋、寺院などが計画的に配置された町です。また、本来防備も考えられた町下の小大名が多く、特に備中地方が多かったのです。例えば、木下氏の足守陣屋、戸川氏の庭瀬陣屋などがあります。中でも成羽陣屋は、代表的な陣屋町で江戸時代の堅牢型の町筋に横丁(小路)が何本か造られ、当時の人々の生活道路としての面影を残しています。そこには、当時の町

人の信仰の対象となつたえびす宮や金比羅宮、愛宕神社の名称などが小路に残っています。そして、御殿の大手門から成羽川に向かって通じるところに陣屋町の総門を設け、川添いから古町へ渡る新見往來の玄関とし、御殿付近には、重臣を住まわせ、本丁御門を置き、鍵型に折れ曲げて、御殿の付近に供小姓や武士を配置して裏丁とし、給人格や中小姓を住まわせた柳丁の武家町をつくりました。柳丁の東の端に御門と番所を置いて警備を固めています。今では、成羽の町の武家町で柳丁は武家町の風情をたよわして、陣屋町時代唯一郷愁をさそう町筋でしたが、武家屋敷の一部を留めるのみになっています。

鶴首山のふもと、御殿裏には、水谷勝隆が陣屋をつくるために山裾を流れていた成羽川の流れを北へ変える土木工事(大聖牛)をしました。今でもその水路の跡が一部残っています。その後、山崎豊治が五千石の成羽領主として御殿を造営しましたが、御殿より西(上手)の備後街道筋に「星原丁」(星鷹丁)という武家町を取り立て陣屋町の西を固めたのです。

星原丁への入り口付近(現成羽小学校下)に鷹部屋丁を配置し、藩主の鷹狩用の鷹の訓練などに従事した武士を住まわせた。続いて西の街道沿いに「星原丁」の武家町を取り立てていました。今でも高い石垣の上に家を構えていた江戸期の石垣や屋敷が残っていて武家町らしい風情が残っている町です。屋敷へ入る石垣の階段は必ず直角に折れ曲がっ

て玄関へ昇るように作られていて、漆喰の土塀で囲まれた屋敷が並んでいて武家町としてめずらしい町並みです。この街筋の西の境には、星原番所と御門を設け午後六時に閉門していました。柳丁の武家町と同じように星原丁にも町通りの真ん中には溝があつて道も今より狭かったのです。

山崎豊治が万治二年(一六五九)に菩提寺として創建した華嚴山桂巖寺(曹洞宗)があります。墓地には代々領主の墓碑や燈籠が並んでいます。また、寺の玄関や鬼瓦には、「板扇」の家紋(山崎扇)が見られます。本丁にあつた藩校勤学所で儒学を教えていた福地出身の信原徳太郎は、安政三年(一八五六)鷹部屋町に藤陰塾(育英学舎)を開いていました。

「星原」という地名の由来はよく分かっていませんが地域の人は伝説として、「この西の備後往來の山側に大きな石がある。これは空から長い尾を引いて星が降つてきた。そこに経津主神社を建てて祀りました。この石は、またぐと悪いことが起こるといわれています。」というところから「星原」とか「下原」という地名が生まれたというのです。こうなると伝説をもとにした地名ということになります。

(文・松前俊洋さん)

まちの伝言板 れんげ祭り



れんげ祭り実行委員会 広報担当 福本 洋之 さん(47)

ゴールデンウィーク真っ盛りの5月2日(日)、川面町市場地区でれんげ祭りが開催されます。化学肥料などなかった時代、農家はレンゲを田に植えていました。レンゲは鋤き込むことで有機無農薬栽培の肥料にし、畜産牛の餌に利用されました。

また、レンゲが一面に咲き誇った田では、子どもたちがかくれんぼをしたり、女の子がレ

ンゲの首飾りや髪飾りを作るなどして遊んでいました。「こうした昔遊びの楽しさを、ぜひ現代の子どもたちも体験してほしい」と福本さん。

祭りの詳細は次のとおり。
 ▼日時：5月2日(日)
 午前10時~午後2時

▼会場：川面幼稚園(市場地区)周辺

▼内容：子ども相撲、野だてお茶、ビンゴゲーム、子ども神楽、バンド演奏、消防署によるはしご車展示など
 ※バザーもたくさんあります。

■ **問い合わせ** 同実行委員会
 広報担当・福本洋之さん
 ☎080-11637-8335

編集後記

春の異動で担当が変わることになりました。1年という短い期間ではありましたが、取材等さまざまな場面でたくさんの方にご協力いただき、すばらしい時間を過ごすことができました。私が感じた感動や感謝の気持ちを紙面でもと努めてきたつもりですが、少しでも伝わっていれば幸いです。

4月からは公聴広報係も新体制となり、行政チャンネルをはじめ、多くのことに取り組んでまいります。今後とも「広報たかはし」をよろしく願います。(MM)

このたびの人事異動で広報担当になりました。まさにシーズンの新入生のような気分です。桜が満開の中、希望に満ちあふれた顔で通学する姿に力を感じながら、締め切りと戦っていきたく思います。

今年度から、公聴広報係は職員5人体制となり、「広報たかはし」「行政チャンネル」を制作していきます。みんなで力を合わせ、分かりやすく楽しい情報発信をしていきたいと思っております。よろしく願います。(KH)